

平成 19 年度 事業 報告 書

事業の状況

1. 都市に関する学術研究に対する助成（寄附行為第4条1号）

（1）一般研究者への助成

募 集（募集期間：平成19年10月1日～11月2日）

一般研究者を対象とし、都市計画・都市景観、都市環境工学、都市交通システム・エネルギー計画、建築技術、都市建築史・都市と文化、都市政策、都市経済などの研究について、平成19年7月1日、財団のホームページに募集要項を掲示し、また同年9月28日に、国公立大学等に募集案内を送付した。

選 考

大学等の研究者より73件の応募があった。

それぞれについて、7名の選考委員によって、次の評価要素を勘案し、審査を行った。

- a. 発想の独創性
- b. 研究計画の実現性
- c. 研究又は研究体制の発展への貢献度
- d. 財団の助成対象としての適合性

平成20年3月13日開催の第19回選考委員会において、18名の助成候補者を選定し、理事長に報告した。

理事長はこれにもとづき、平成19年度の研究助成者対象者18名を決定し、平成20年3月21日、本人に通知した。

(計 26,320千円)

（2）若手研究者への助成

募 集（募集期間：平成19年10月25日～12月10日）

大学院博士課程等に在籍し、都市に関するテーマを専攻する若手研究者を対象とする助成について、国公立の大学院研究科長等に候補者の推薦を依頼した。

選 考

6大学から6件の推薦があった。

これについて、平成20年3月13日開催の第19回選考委員会におい

て審査し、奨励研究助成候補者6名を選定し、理事長に報告した。

理事長はこれにもとづき、平成19年度の奨励研究助成対象者6名を決定し、平成20年3月21日、本人及び推薦者に通知した。

(計 1,800千円)

(3) 在外実務研修助成について

募 集 (募集期間:平成19年10月25日~12月10日)

大学大学院・学部在籍し、都市計画、建築設計等を専攻する学生のうち海外の研究機関、設計事務所等で実務経験を体験しようとする者を対象とする研修助成について、国公私立の担任教授に候補者の推薦を依頼した。

選 考

2大学から2名の推薦があった。

これについて、平成20年3月13日開催の第19回選考委員会において審査し、在外実務研修助成候補者2名を選定し、理事長に報告した。

理事長はこれにもとづき、平成19年度の在外実務研修助成対象者2名を決定し、平成20年3月21日、本人及び推薦者に通知した。

(計 600千円)

2. 都市に関する学術研究を行う外国人研究者の招聘及びわが国研究者の海外派遣に対する助成(寄附行為第4条2号)

募 集 (募集期間:平成19年10月1日~11月2日)

都市に関する学術的な国際会議、学会または共同研究のために来日する外国人研究者の招聘や、同様の目的で渡航するわが国研究者の海外派遣に対する助成について、国公私立の大学等に募集案内を送付するとともに、財団のホームページに募集要項を掲示した。

選 考

8大学等から8件の応募があった。

これについて、平成20年3月13日開催の第19回選考委員会において審査の結果、助成候補者8名を選定し、理事長に報告した。

理事長はこれにもとづき、平成19年度の国際交流助成対象者8名を決定し、平成20年3月21日、本人に通知した。

なお、通知後、1名の辞退があり、結果として7名の採択となった。

(計 3,312千円)

3. 都市に関する国際会議、研究集会、シンポジウム及びセミナー等の開催に対する助成(寄附行為第4条3号)

募 集(募集期間:平成19年10月1日~11月2日)

わが国で開催される都市に関する国際会議等への助成については、国公立大学等に募集案内を送付するとともに、財団のホームページに募集要項を掲示した。

選 考

6大学及び1研究所より7件の応募があった。

これについて、平成20年3月13日開催の第19回選考委員会において、5件を助成候補として選定し、理事長に報告した。

理事長はこれにもとづき、平成19年度の国際会議助成対象5件を決定し、平成20年3月21日、代表申請者に通知した。

(計 5,000千円)

4. 都市に関する学術講演会、展示会、セミナー等の開催(寄附行為第4条4号)

神戸市立博物館とシアトル美術館が開催する展覧会「Japan Envisions the West: 16th- 19th Century Japanese Art from Kobe City Museum」(平成19年10月11日~平成20年1月6日:於シアトル市)に助成。

(1,233千円)

5. 都市に関する学術研究等において優れた成果を上げた研究者に対する顕彰(寄附行為第4条5号)

第5回大林賞の受賞者の選考を行った。

- ・選考委員会 平成19年10月10日、同年12月14日開催
- ・選考委員会は、受賞候補者としてアメリカのマ・ク・レビン氏を選定し、理事長に報告した。
- ・理事長はこれにもとづき、第5回大林賞の受賞者にマ・ク・レビン氏を決定するとともに、本年11月25日に授賞式・記念シンポジウムを開催することを決定した。

<マーク・レビン Mark D. Levine >

(略歴)

- 1944年 オハイオ州クリブランド生まれ(63才)
- 1966年 プリンストン大学 最優等 卒業
- 1966~67年 フルブライト奨学生としてベルリンに留学
- 1972年 カリフォルニア大学バークレー校 博士課程修了
- 1975年 同大学にて博士号(化学)取得
- 1972~74年 フォード財団 エネルギー政策プロジェクトに従事
- 1974~78年 カリフォルニア州メロンパークSR Iインタナショナル
エネルギー政策上級アナリスト
- 1978~80年 LBNL エネルギー分析プログラム副代表
- 1985年 同上代表
- 1997年 LBNL 研究責任者(年度予算10Mドル超)
- 1998年 LBNL 環境エネルギー技術部 部長
- 2007年 LBNL 主席常勤研究員兼中国エネルギーグループリーダー

LBNL = Lawrence Berkeley National Laboratory

(ローレンス・バークレー国立研究所)

(功績)

マーク・レビン氏は、長年、環境とエネルギーに関する研究に携わってきた。とりわけ、建築分野のエネルギー効率向上技術や、室内空気汚染防除技術、先端蓄電池・低NO_x燃焼等のクリーンエネルギー技術の研究発展に貢献してきた。また、昨年ノベル賞を受賞したIPCC(Inter-governmental Panel on Climate Change: 気候変動に関する政府間パネル)の主要メンバーの一人であり、第2次~第4次レポートの緩和技術の章における責任執筆を務めたほか、エネルギーと環境に関するアメリカ、アジアの非営利団体の委員等に就任し、これらをリードしてきた。

6. 前各号に掲げるもののほか、本財団の目的を達成する為に必要な事業
(寄附行為第4条6号)

選考関係費を支出した。(計 1,682千円)

. 処務の概要

1. 役員等に関する事項

平成20年3月31日現

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	現職	備考
理事長	非常勤	大林 剛郎	平成18年4月1日	業務の総理	(株)大林組 取締役	
常務理事	準常勤	小川 進吾	同上	理事長の補佐	(財)産業医学研究財団 理事長	
理事	非常勤	磯崎 新	同上	業務の決議	(株)磯崎新アトリエ 代表	
同上	同上	尾島 俊雄	同上	同上	早稲田大学理工学部 教授	
同上	同上	佐伯 尚孝	同上	同上	(株)三菱東京UFJ銀行 名誉顧問	
同上	同上	佐和 隆光	同上	同上	立命館大学政策科学研究科 教授	
同上	同上	妹島 和世	同上	同上	(株)妹島和世建築設計事務所 代表取締役	
同上	同上	根津 公一	同上	同上	(株)東武百貨店 代表取締役社長	
同上	同上	長谷川善一	同上	同上	学校法人関東学院文学部 比較文化学科 教授	
同上	常勤	曾我 嘉海	同上	事務局の統括	(株)大林組	

監事	非常勤	小林 啓文	平成18年4月1日	監査	森・濱田松本法律事務所 弁護士	
同上	同上	松尾 政和	同上	同上	公認会計士	

評議員	非常勤	安藤 忠雄	平成18年12月10日	議案の審議・助言	安藤忠雄建築研究所 所長	
同上	同上	井植 敏	同上	同上	三洋電機(株) 代表客員	
同上	同上	石井 幹子	同上	同上	(株)石井幹子デザイン事務所 代表取締役	
同上	同上	宇野 郁夫	同上	同上	日本生命保険相互会社 代表取締役会長	
同上	同上	岡野 光喜	同上	同上	スルガ銀行(株) 代表取締役社長兼CEO	
同上	同上	川村 恒明	同上	同上	(財)文化財建造物保存技術 協会 会長	
同上	同上	仲上 健一	同上	同上	学校法人立命館 常務理事	
同上	同上	野間 暎史	同上	同上	(株)大林組 代表取締役 副社長	
同上	同上	原 俊夫	同上	同上	原美術館 館長	
同上	同上	福原 義春	同上	同上	(株)資生堂 名誉会長	
同上	同上	森 佳子	同上	同上	森美術館 理事長	
同上	同上	山本 雅弘	同上	同上	(株)毎日放送 代表取締役会長	

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	現職	備考
選考委員	非常勤	伊藤 滋	平成18年12月10日	助成候補の選考	早稲田大学 特命教授	委員長
同上	同上	黒川 洸	同上	同上	(財)計量計画研究所 理事長	副委員長
同上	同上	石井 威望	同上	同上	東京大学 名誉教授	
同上	同上	伊東 順二	同上	同上	富山大学芸術文化学部 教授	
同上	同上	鈴木 博之	同上	同上	東京大学大学院 工学系研究科 教授	
同上	同上	藤田 昌久	同上	同上	甲南大学 教授 独立行政法人経済産業研究 所 所長	
同上	同上	村上 周三	同上	同上	慶応義塾大学理工学部 教授	

2. 職員に関する事項

職名	常勤・非常勤	氏名	採用年月日	担当事務	備考
事務局長	常勤	曾我 嘉海	平成16年7月1日	事務所の統括	(株)大林組との出向契約による。
事務局次長	準常勤	増田 守康	平成16年7月1日	退職	大林不動産(株)との業務委託契約の終了による (平成19年7月1日付)
部長	常勤	梅林 祐子	平成19年5月21日	財務・経理	(株)大林組との出向契約による。
マネージャー	同上	吉川 裕子	平成20年1月15日	総務・庶務	同上
事務員	非常勤	佐伯みつる	平成10年9月22日	庶務	別途、(財)産業医学研究財団との業務委託契約 による。なお、平成20年3月末日を以て終了。
同上	同上	佐藤 仁美	同上	会計	

3. 会議等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	会議事項	会議の結果
平成19年6月5日	1.平成18年度事業報告書及び収支決算書について	全会一致で承認・可決
平成20年3月13日	1.平成19年度における業務の執行状況について (報告事項)	承認
	2.大林賞について(報告事項)	承認
	3.評議員会における第6期理事及び監事の選任につ いて(報告事項)	承認
	4.平成20年度事業計画書及び収支予算書について	全会一致で承認・可決
	5.株主権の議決権行使について	理事長に一任することを全会一致で承認・ 可決

(2) 評議員会

開催年月日	会 議 事 項	会 議 の 結 果
平成19年 6月5日	1.平成18年度事業報告書及び収支決算書について	全会一致で承認・可決
平成20年3月13日	1.平成19年度における業務の執行状況について(報告事項)	承認
	2.大林賞について(報告事項)	承認
	3.第6期理事及び監事の選任について	全会一致で承認・可決
	4.平成20年度事業計画書及び収支予算書について	全会一致で承認・可決
	5.株主権の議決権行使について	理事長に一任することを全会一致で承認・可決

(3) 選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
平成19年10月10日	第5回大林賞候補者の検討について	候補者の決定には至らず、次回12月14日選考会議を開催することとした
平成19年12月14日	第5回大林賞の受賞者決定について	受賞者として、アメリカのマ・クレピン氏を選考決定
平成20年3月13日	1.平成19年度公募等経過について(報告事項)	承認
	2.大林賞について	選考の経過を報告
	3.平成19年度研究助成等候補者の選考について	全会一致で候補者を選考決定
	4.平成20年度助成事業に関するスケジュールについて	全会一致で承認・可決

4. 許可、認可、承認、証明等に関する事項

申請年月日	申 請 事 項	許 可 年 月 日	備 考
	該当事項なし		

5. 契約に関する事項

契約年月日	契 約 相 手 方	契 約 の 内 容
平成19年5月21日	株式会社大林組東京本社	事務局員の出向契約(覚書)
平成20年1月11日	株式会社大林組東京本社	事務局員の出向契約(覚書)

6. 寄付金に関する事項

寄付の目的	寄 付 者	申込金額	領収金額	備 考
	該当なし			

7. 主務官庁からの連絡事項等

連絡年月日	連 絡 事 項	履 行 状 況
平成19年 4月25日	新たな公益法人制度に関する情報提供について(情報提供)	事務局保管
平成19年6月22日	実地検査の指摘事項(財務諸表のHPへの公開等)に関する改善措置について	改善報告書を提出
平成19年6月22日	平成18年度事業報告書及び収支決算書を提出	
平成19年10月4日	国家公務員再就職者の在籍状況及び補助金の執行状況について(調査依頼)	10月4日提出
平成19年10月9日	平成19年度公益法人概況調査等の実施について(依頼)	10月15日提出
平成19年10月26日	「公益法人制度改革説明会」の開催について	11月19日出席
平成19年11月28日	平成18年度助成実績について	11月29日提出
平成19年12月14日	国家公務員の再就職状況に関する予備的調査について	12月17日提出